



大学生が国土交通省のプロジェクトを学ぶ

かなざわこうぎょうだいがく

のうえつじ どうしゃ どうなな お ひ み

～金沢工業大学の学生約80名が能越自動車道七尾氷見道路の工事現場を見学～

- 国土交通省北陸地方整備局では、現在、国道470号能越自動車道七尾氷見道路【七尾IC～七尾城山IC間(延長3.2km)・七尾大泊IC～灘浦IC間(延長7.1km)】の平成26年度中の開通を目指し、富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所が区間を分担し、工事を進めています。
- このたび、両事務所は金沢工業大学の学生を七尾氷見道路の工事現場に招き、学生が普段の講義では学べないプロジェクトの現場を間近で体感し、自分達が目指す土木技術者の仕事を理解し、自身の将来像をイメージする機会を提供します。
- また、現場見学前に大学校舎において、富山河川国道事務所職員が学生に対しプロジェクトの進め方等に関する講義を行います。

●現場見学の概要

- ・見学日時：平成26年10月10日(金) 13:20～15:30 概略工程は別紙1参照
※雨天決行ですが、荒天の場合は中止します。
- ・集合場所：氷見市中波地先(別紙1・2 見学場所①)
- ・参加者：金沢工業大学環境・建築学部 環境系 環境土木工学科 1年生約80名
(ほか指導教員2名)
- ・取材受付：取材を希望される方は、13:00～13:20迄に集合場所までお越し下さい。
(駐車可)
午前中の講義や現場見学の途中からの取材を希望される方は、前日までに以下の問い合わせ先に個別にご相談ください。

●現場見学のポイント

- ・現場見学は集合場所直近の氷見第15トンネルの内空を見学した後、2つのコースに分けて案内します。
- ・Aコースは山岳主体の現場とし、氷見市中波地区の切土工事、脇地区の舗装工事の現場を回り、CIM(Construction Information Modeling)や情報化施工、舗装の種類等について学びます。
- ・Bコースは平野主体の現場とし、七尾市矢田地区の舗装工事、城山高架橋工事の現場を回り、舗装の種類やプレストレストコンクリート等について学びます。



氷見市脇地区の施工状況(10月上旬)

●参考

- ・昨年の見学会 http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/topics_detail_15_152_ef18fbcc45a3acd4814bb6450b0b029e.html
- ・大学と整備局の連携・協力協定 <http://www.hrr.mlit.go.jp/press/2012/04/120406kikakubu.pdf>

お問い合わせ先

パレットとやま

能越国道出張所長 餘久保 陽 TEL 0766-64-5731 (直通) FAX 0766-64-5921



富山河川国道事務所 TEL 076-443-4701 (代)

〒930-8537 富山市奥田新町2番1号 <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

【金沢工業大学現場見学会 行程】

別紙1

■概略行程

【共通】

- 9:30~10:30
金沢工業大学において講義
- 10:50~12:20
〔経路1〕能越・R160経由で昼食場所
(九殿浜休憩所)へ
- 13:20~13:40
見学場所①(氷見第15トンネル)

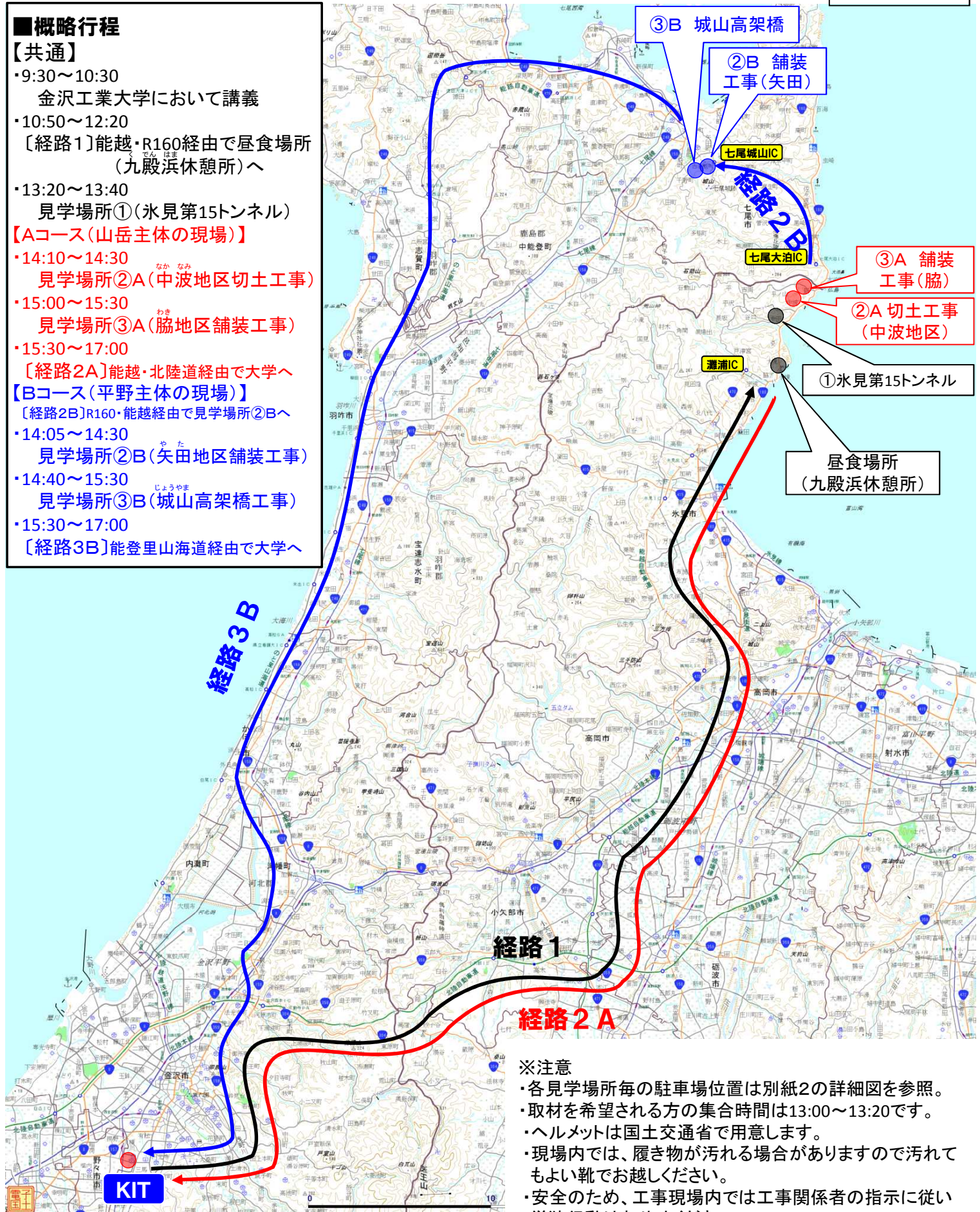
【Aコース(山岳主体の現場)】

- 14:10~14:30
見学場所②A(中波地区切土工事)
- 15:00~15:30
見学場所③A(脇地区舗装工事)
- 15:30~17:00

〔経路2A〕能越・北陸道経由で大学へ

【Bコース(平野主体の現場)】

- 〔経路2B〕R160・能越経由で見学場所②Bへ
- 14:05~14:30
見学場所②B(矢田地区舗装工事)
- 14:40~15:30
見学場所③B(城山高架橋工事)
- 15:30~17:00
〔経路3B〕能登里山海道経由で大学へ



※注意

- 各見学場所毎の駐車場位置は別紙2の詳細図を参照。
- 取材を希望される方の集合時間は13:00~13:20です。
- ヘルメットは国土交通省で用意します。
- 現場内では、履き物が汚れる場合がありますので汚れてもよい靴でお越しください。
- 安全のため、工事現場内では工事関係者の指示に従い単独行動はおやめください。

【見学者バス駐車場詳細図】

別紙2

※各見学場所で見学者がバスに乗降する駐車場は、図上の **P** の場所です。

学生は現場内を徒歩で移動します。

現場見学会に同行される方は、見学会終了後に元の駐車場まで国土交通省の車でお送りします。

